1955年（昭和30年）、調布町と神代町が合併し、人口4万5,090人、1万391世帯の「調布市」が誕生しました。1964年（昭和39年）の東京オリンピックでは、甲州街道がマラソンコースとなり、この頃から、たくさんの団地が建設され、人口も急増しました。そんな調布市の70年の歩みをすごろくにしました。皆さんも遊びながら調布の歴史を振り返ってみませんか。

1966
中央図書館開館

1967
中央自動車道開通
（調布IC～八王子IC）
もう1回サイコロを振る

1971
（昭和46年）
・市民プール、市民野球場開設
・新庁舎へ引越し

1972
下水道利用開始

1973
調布IC実力封鎖
市民を公害から守るために！
1回休む

1974
市の花・木制定
（百日紅、くすの木）

1974
郷土博物館開館

1974当時の郷土博物館

1975
市の歌「わが町調布」が完成
1番を歌えたら
もう1回サイコロを振る

1976
市民憲章制定

1977
（昭和52年）
市民福祉会館（グリーンホール）完成

整備中のグリーンホール

1979
ふるさと祭り開催

1982
（昭和57年）
花火が15年ぶりに復活

1983
八ケ岳少年自然の家完成

1985
防災行政無線運用開始

1985
・武者小路実篤記念館完成
・総合体育館完成
・長野県木島平村と姉妹都市盟約を結ぶ

長野県木島平村

1987
市の鳥制定（メジロ）

1989
元号が「平成」に

1992
深大寺水車館完成

深大寺水車館

武者小路実篤記念館

2005
市報全面カラー化

2006
市立中学校で

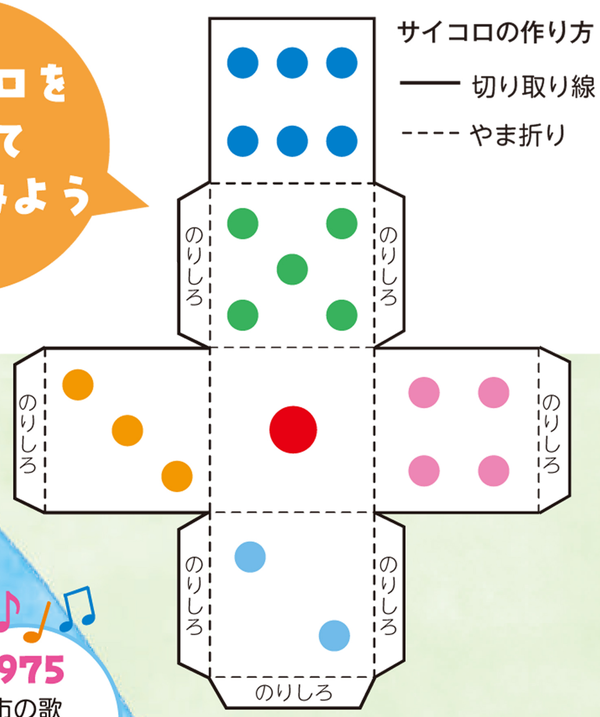
2008
せんがわ劇場開設

2008
不発弾処理
（国領町１丁目で発見）
1回休む

2008
水木しげるさんが名誉市民に

2009
子ども発達センター開設

2010

サイコロを作ってやってみよう

サイコロの作り方
―― 切り取り線
---- やま折り